

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・02〉	いわき市立	平	第	二	中学校
＜実施日＞	平成 28 年 2 月 22 日 ( 月 )					
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は ( ) に教科等を入れてください。 1 理科    2 学級活動    ③ 総合的な学習の時間    4 その他 (                      )					
＜実践内容＞	<p>いわき明星大学教養学部 特任教授 石川哲夫先生による出前授業 「科学的な理解を進める放射線教室」 13:30～15:00    5・6校時    第1学年    96名</p> <p>放射線入門・基礎 自然界の放射線について 世界の空間放射線量 霧箱 放射線の性質 放射性物質 放射能・放射性物質の違い 放射線の透過力 被爆 低線量被曝 放射線の利用 放射線から身を守る3原則 福島第一の現在の状況</p> <p>アンケート</p>					
＜成果＞	<p>簡易霧箱等で実際に飛来している放射線や放射性物質から出てくる放射線（粒子）を観察することができた事は大きなインパクトにつながった。また、霧箱の様子をモニターにリアルタイムで表示したので説明しながら見せることができた。 手渡された資料もカラーだったので見やすかった。 視聴覚資料が豊富だったため、最後まで興味を持って聞くことができた。</p>					
＜課題＞	<p>内容が豊富すぎて、後半は時間が詰まった。 下位生徒の知識量。</p>					
資料作成担当者職（教諭）氏名（ 鈴木芳美 ）	学校電話番号（25-2479）					

### 【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日（月）までに電子メールで送信してください。  
（送信先：[kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)）

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・02〉	いわき市立	平	第	二	中学校
＜実施日＞	平成 27 年 2 月 4 日 ( 水 )					
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は ( ) に教科等を入れてください。 ① 理科    2 学級活動    3 総合的な学習の時間    4 その他 ( )					
＜実践内容＞	<p>埼玉県加須市立騎西中学校にて    3年5組(34名)    3・4校時</p> <p>導入</p> <p>1 原発や放射線等について知っている言葉は</p> <p>2 それらの中で意味もわかるものは</p> <p>展開</p> <p>3 放射線の性質 自然放射線 放射線の利用</p> <p>4 なぜ原発は必要だったか 日本のエネルギー事情</p> <p>5 放射線の種類 粒子線と電磁波</p> <p>6 放射線の透過能力 放射線の強さとは 放射線の遮断</p> <p>7 放射線に関する用語 放射性物質と放射能と放射線 放射線の単位 放射性同位体 半減期(放射性崩壊)</p> <p>8 人体への影響</p> <p>まとめ</p> <p>9 放射線とどうつきあうか</p> <p>配付資料：文科省の放射線教育資料を基にした自作資料</p>					
＜成果＞	<p>導入の段階で正しい知識を身に付けしっかり判断する事の大切さを通して本時のねらいにつなげたことは効果的だった。</p> <p>放射線の性質では事実のみ、個人の考えは入れない事は重要であり、配慮された指導であった。放射線が身近にある事や、放射線の種類等豊富な知識を駆使したわかりやすい授業であった。</p> <p>福島県原籍の教員ならではの説得力のある授業であったと考える。</p>					
＜課題＞	<p>放射線は内容が見えないものであるがゆえ、視覚に訴える動画(DVD)等あると、より理解が深まったと考える。</p> <p>(成果・課題は騎西中校長より)</p>					
資料作成担当者職(教諭)氏名	( 鈴木芳美 )		学校電話番号(25-2479)			

### 【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。  
(送信先：[kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp))